

平成25年予算決算委員会第2分科会会議録

1. 招集年月日 平成25年9月24日
2. 招集の場所 可児市役所5階第1委員会室
3. 開 会 平成25年9月24日 午前10時40分 分科会長宣告

4. 審査事項

協議事項

1. 予算決算委員会提言の取りまとめについて
2. その他

5. 出席委員 (5名)

分科会長	澤野伸	分科会員	野呂和久
分科会員	亀谷光	分科会員	富田牧子
分科会員	川合敏己		

6. 欠席委員 なし

7. その他出席した者

予算決算委員長	伊藤寿	予算決算副委員長	伊藤英生
---------	-----	----------	------

8. 職務のため出席した者の職氏名

議会事務局 書記	小池祐功	議会事務局 書記	村田陽子
議会事務局 書記	熊澤秀彦		

開会 午前10時40分

分科会長（澤野 伸君） これより予算決算委員会第2分科会を開催いたします。

認定第1号から認定第17号までの平成24年度各会計決算認定審査の結果を踏まえて、平成24年度の予算執行の反省を平成26年度当初予算編成に生かすよう提言を行っていききたいと思います。

9月18日の予算決算委員会において、委員からの発言のありました内容のもとに、本日、分科会員の皆さんから建設市民委員会所管についての御意見をいただき、まとめていききたいと思います。

まずは、提言として取り上げる項目について整理し、後ほど成文化していききたいと思います。

委員会の中でもございましたが、建設市民委員会所管部分では7つの提言がございました。この中で取捨選択する部分と、また当分科会の委員の皆さんで新たにつけ加えたほうがいいというものをまた新規にいただくといった中で取捨選択を行っていききたいと思いますので、よろしく願いいたしたいと思います。

ちなみに、9月18日の委員会の中で御発言がありましたのは、文化創造センター a 1 a 及び公共施設の中・長期的なファシリティーマネジメントについての御指摘、それからいじめ対策の予算について、それから下水道未接続の問題についての意見、それから自治会未加入に係る問題についての御意見、それから雨水排水の整備についての御意見、それから可児駅東土地地区画整理事業と可児駅前線街路事業についての御提言、それから可児市運動公園スタジアムについての御提言ということで7つございましたけれども、どなたか御発言ございませんか。

分科会員（川合敏己君） 私は雨水排水の件、ちょっとお話し申し上げたんですけど、調べますと既にもう平成22年度の決算のころから、この件については毎年、豪雨が毎回あったということもあるんですけど、出されておりました、結構その中・長期の計画も含めて箇所づけて予算が執行されている部分もあったりするんです。確かに全てというわけではないんですが、比較的積極的に、特に昨年度は防災にはかなり予算を入れていただいたということもあるもんですから、既に現行、そういった形でスムーズに進行しているということもございまして、私が出した提案であったんですけども、今回はとりあえずは、ほかのものがあればそちらのほうを提案していったほうがいいのかなというふうに思いましたので、改めて。

分科会長（澤野 伸君） 公共施設等々にかかわることですので、うまくその中でも含みを入れながらまとめていきなと。ありがとうございます。

分科会員（富田牧子君） ちょっと一番初めの提言の意味がわからないんですけど。

加入促進はわかりますけど、自治会の、これは幾らやってもなかなか大変で、それは加入するのは自由ですから。

その次ですよ、新たな枠組みづくりを検討されたいと。これはどういうことを意味して、

イメージして言われているのか。

分科会長（澤野 伸君） これはもうちょっと待ってください。野呂委員から腹案というか提案がある前に先に出しちゃだめじゃん、これ。

皆さんの御意見を伺って、腹案というか、一つの提案を野呂委員のほうから申し出があったもんですから、出したいなというふうに思いますが、その前に皆さんの御意見もいただいて進めていきたいと思えますけれども。

〔「いわゆる取捨選択のほうですね」の声あり〕

そうですね。その中で野呂委員が一つの提案を出したいということで御提示させていただきますけれども、まず先にそっちを出してよろしいですかね。

じゃあ野呂委員、御提案ございますので、よろしく願います。

分科会員（野呂和久君） 3点について、予算決算委員会では7つの提言をということで、分科会で話し合ってくださいということでしたが、3点に絞らせていただいて、提案をさせていただきます。一応読ませていただきます。

災害に強い地域づくりについて。

可児市地域防災計画に基づいた「市民相互の助け合い」や「各種団体等の参画」による災害に強い協働のまちづくり構築に向け、コミュニティの醸成並びに各種団体との連携強化が重要である。そのために、自治会の機能充実を図る会員加入促進施策や自治会未加入者を対象とした新たな枠組みづくりを検討されたい。

2つ目に、公共ストックマネジメントについて。

本市は、市民が豊かな生活を享受するためのさまざまな施設整備を行っており、量的充実が果たされつつある。しかし、施設ストックは経過年数とともに老朽化し、安定的なサービス水準を維持するためには、現状の評価や将来起こり得る変化に対応する仕組みづくりが急務である。マネジメントの方針を示されたい。

3番目に、可児市運動公園の運用充実について。

可児市運動公園スタジアムが平成26年4月に供用開始予定である。これで可児市運動公園施設整備事業が完了するわけであるが、施設の運用充実を図る上で、施設へのアクセス道路の整備や利用者の駐車場拡充など課題は山積である。引き続き必要な整備事業をされたい。

以上3点です。よろしく願います。

分科会長（澤野 伸君） ありがとうございました。

一つの提案ということで、野呂委員のほうから今お示しをいただきましたけれども、まず委員会の中では7つの提言があって、ある程度盛り込みながら3つに絞っていただいたというような文章かと思えます。

まず初めに、今御提案のあった部分について、皆さんの御意見をいただきながら行きたいと思えます。

また、予算決算委員会のほうでは7つ出しましたが、これ全部採用しなきゃならないものではないので、なるべくもうちょっと絞り込んでいくのがいいかなあというふう

に、個人的な意見も言っちゃっていますけど、進め方としてはそうしていききたいなというふうで、よろしいですか。また皆さんの意見を聞きながら進めますので、お願いします。

じゃあまず御提案のあった部分についての、今朗読がございましたけど、御意見がありましたら。

分科会員（富田牧子君） 先ほど言いましたが、1番のが意味不明なんです。自治会の機能充実を図る会員加入促進、これって市が提案してやることなのかというふうに私は思うわけですよ。だから、災害に強い地域づくりは必要なので、でもいろんな形でやっておりますので、ここで言っていることは自治会を何とかしなさいよと。自治会の未加入者はほかの枠組みで何かつくったらどうかというけど、ほかの枠組みということがわからない、まずね。

いろんな各種団体はあって、各種団体の参画によって構築に向けてやっているということは言っているんだから、言う必要もないことではないでしょうか。

分科会長（澤野 伸君） 多分野呂委員はこの7つの提言をうまく取り込んで苦労されたところだと思いますけど、じゃあ野呂委員、ちょっと御意見あったら。

分科会員（野呂和久君） 自治会に加入していらっしゃる方、実際今62%の自治会加入率で、残りの38%の方は自治会に未加入。その未加入の方というのは、私もそうですが、いわゆるアパートとかマンションとか、そういうところにお住まいの方で、そうしたものの自体が入る窓口というか、入るところすらないという現実がありまして、そうしたところの方を対象にした何か枠組みができないかというようなことでここは記入をさせていただいたんですけども、じゃあ実際何をと、どういうものがいいのということを言われますと若干お答えできない点もあるんですけども、考えていくことは大事じゃないかということで、特に災害ということや、日ごろの市からの情報というのは、広報とかはそれぞれの管理会社のほうからいただいたりしてやっておりますけれども、それだけでは情報というのはきちっと入ってこないという点もありますので、そういった日ごろのことと、災害のいざといったときに、さあどうするのといったときに、果たして避難場所を確実に皆さん御存じかということ、若干心配な点もあるということもあるので、そうしたことが大事じゃないかという点で入れさせていただきました。

分科会員（富田牧子君） 自治会はあくまでも任意加入なんで、強制ではありません。みずからが加入するということで、野呂委員もそういうのが必要だと思われたらそのアパートでつくられればいいわけで、そういうことをつくっていないからこっちで何かやってほしいというふうなことは、ちょっと私はおかしいというふうに思いますので、情報については必ず大家さんのところに行くわけですから、アパートの中で自主防災会をつくるとか、そういうふうにつくるんなら、それはそれでいいというふうに思いますので、あれこれつくってほしいという、もう既にいろいろ仕組みはいっぱいあるわけですので、新たにそういう枠組みを検討されたいということの意味が私にはよくわかりません。

分科会員（川合敏己君） 自治会の加入者というのは、イコール防災会にも入っているような形で、それはいわゆる可児市地域防災計画に基づいて、その役割というのは結構明確に記

載されているんですけども、自治会の未加入者の方々に対してどういった被災対応をしていくような活動ができるのかというのが、確かにこの部分というのは空白地帯だと思うんですね。自治会に加入されていない方は、そういった部分では取り残されるケースがやっぱりあるんですよね、災害のときには。どこに行ったらいいかわからないとか、何をしたらいいかわからないというような部分はあるんで、そういった方々も、いざ災害に遭ったときに…

…。

ちょっと難しいな、これは。被災対応ができるようなものを構築していきたいとか、そういうニュアンスですか。ごめんなさい、僕の言っていることがちょっとわかりづらくて。

分科会長（澤野 伸君） 地域防災計画の関連を強めていくと、総務企画委員会のほうの所管に踏み込んで、両足突っ込んだような、自治会の関係ですと地域振興課がこちらの所管になってくるもんですから、今の野呂委員の主たる思いとしては、防災に絡めた自治会未加入者への、川合委員もおっしゃっていたような対策ですね。

地域防災計画をいかに運営していくかということを重点に置くと、我々の所管から外れていくかなという思いもあるんですけども。

分科会員（川合敏己君） そういったところで、私は総務企画委員会所管のほうで地域防災計画をせっかくつくるんで、それがうまく運用されるようなものをちょっと議論してほしいということで、あっちで出しておるもんですから、逆にもしそういった趣旨があるのであれば、本当にありがとうございました、すごくつくっていただいたのはありがたかったですけれども、この分科会からは外してもいいのかなあというふうには思います。

分科会長（澤野 伸君） わかりました。ちょっと待ってください。

済みません。ただいま情報が入ってまいりまして、この後、第1分科会が予定されておりますが、一つの提言案が出ておりまして、そのうちの1つで、地域防災計画の運用についてということで提案が出されております。

ほかの分科会のことなんであれなんですけど、ちょっと読ませていただくと、地域防災計画に基づく各種マニュアルを早急に策定すること。また共助を担う自治会または自主防災組織の防災力向上を図り、地域格差が生じないように働きかけることと、まさに大分こちらのほうで取り上げてもらえるみたいですので、我々のほうはちょっと下げてもらって、またこれは委員会のほうで再度全体の中でも協議し直しますので、当分科会からは外すような形でよろしいですかね。野呂委員、よろしいですか。

分科会員（野呂和久君） 了解いたしました。

分科会長（澤野 伸君） ということで、ちょっと1つ目は外すということでお願いします。

じゃあ2つ目、3つ目の部分で、公共ストックマネジメントについてと、可児市運動公園の運用充実についてをちょっと見ていただきたいなと思うんですが、特にファシリティーマネジメントの件について多くの御意見をいただいていたところかと思えます。

そうした中で、ファシリティーマネジメントは今策定に入ってきておりますけれども、ま

だ方針が全然示されていませんので、こういった形での提案かなあというふうに思っておりますが。

分科会員（富田牧子君） スtockマネジメントとファシリティーマネジメントは違うのか語句をきちっとすることと、方針を示されたいというけど、やっているのもうちょっとやわらかな感じの言葉で、実際にはやっているわけですから、もう既に。だからちょっと語尾というか、この辺の表現だけ変えてもらうといいかな。

分科会長（澤野 伸君） 一応、公共ストックイコールファシリティーではないんです、ニアなんですけれども。いわゆる公共財については公共ストックのほうが広い意味合いになってくると思うんですけれども。係長、そういう解釈やね、語彙解釈でいくと。

議会事務局書記（小池祐功君） 基本的にちょっと調べてみたんですが、大体その施設、要は資産として捉えるようなところでそれをどうマネジメントしていくかということで、今分科会長が言われたようにニアリーですけど、ほぼ同じような解釈でいいかなとは思いますが、ファシリティーのほうが若干大きいのかなとは思いますが。

分科会長（澤野 伸君） サービスも含むんだよね。

議会事務局書記（小池祐功君） あらゆる財産というような捉え方で、公共ストックは本当に公共施設の財みたいな感じで限定するような捉え方ですけど、ほぼニアリーイコールかなとは思いますが。もしあれならば、語句はそろえたほうがいいかもしれませんね。

分科会長（澤野 伸君） そうすると、ファシリティーマネジメントのほうが可児市は使われているんですよ。スタートはそっちだったような気がしますけど、どうですか。

議会事務局書記（小池祐功君） そうですね。今公有財産経営室のほうもファシリティーマネジメントというような呼び名で進めていますので、特に公共ストックというのに……。

分科会長（澤野 伸君） 名称はない。

議会事務局書記（小池祐功君） そうですね。ファシリティーマネジメントのほうに寄せたほうがいいかもしれませんが、捉え方としては。

分科会長（澤野 伸君） わかりました。

今、富田委員から御指摘がございましたので、執行部が今検討に入られているということですので、そちらに言葉を合わせていくということで、委員の皆さん、よろしいですかね。

あと検討に入られているんで、今一生懸命やっている中ですので、「マネジメントの方針を示されたい」というのはちょっと語感的にも強いということでもう少し言葉をかえたいと思うんですけど、その辺もよろしいですかね。

野呂委員、何か御指摘があれば。

分科会員（川合敏己君） ちょっと済みません、教えてください。

このストックというのは私は施設のことだと思っているんですけど、その施設ストックということになると何か意味合いが出てくるんでしょうか。

分科会長（澤野 伸君） いわゆる経年でたまったという意味合いも込められるんですね。

ちょっと気になるなら削っても同じことですので、公共施設というふうにしてもいいと思

います。なので、施設ストックというのを公共施設というふうにしても同じことですので、そうしましょう。

分科会員（富田牧子君） ちょっと分科会長にお伺いしますが、この提言の語尾ですけど、今までどんな感じで、最後のところですよ、野呂委員につくっていただいたのは「検討されたい」「示されたい」「されたい」と、そういう語尾でやってきましたけど、今までどんなふうに提言してきたのか、ちょっとそこら辺忘れちゃったので教えていただければ。

分科会長（澤野 伸君） 一応過去のあれでいくと「されたい」で統一されていきました。

分科会員（川合敏己君） 平成22年度でいくと「行うこと」とか「努めること」ということで、これ何どめですか。そうですね、平成23年度の意見集約の部分でも「実施すること」とか「取り組むこと」とか、そういう形になっています。

分科会長（澤野 伸君） 平成24年度が「たい」でやってみえなかった、確認したら何かそんな資料だったかな。

予算決算委員長（伊藤 寿君） 平成23年の決算の取りまとめは、検討することと行うこと、それから予算配分を行うこと、整備すること、4点ほど意見として出しておったんやけど、地域経済の活性化と地域防災の充実、市道の整備と管理、学校の環境整備、この4点ですね。

分科会員（川合敏己君） それで、あと平成23年度の予算特別委員会で、予算の委員会のほうですね。こちらのほうで出ているものに関しては「執行されたい」とか「図られたい」とかそういうような形で、「検討されたい」とかということで、既に予算としては出ているものに対しての要望といいますか提言だったんで、そういうような形にはなっていますね。

〔発言する者あり〕

分科会長（澤野 伸君） そうするとこれは「整備事業をすること」になるのかな、前年に従うと。3番目の「引き続き必要な整備をすること」か、わかりました。ちょっと「整備を実施すること」にしてもらっていいですか、ちょっと強くします、個人的な思いが……。

分科会員（富田牧子君） それについて私は意見がある、もう終わったやん、事業。これ以上予定があるのかという話。

分科会長（澤野 伸君） 県の施設を買っていただきたいなという、駐車場に。

分科会員（川合敏己君） ファシリティーマネジメントは大切なことだと思うんですね、この中では本当にずば抜けて一番。なので、できればそっちをまず。

分科会長（澤野 伸君） 2番目の、じゃあちょっと今富田委員から御指摘があった「マネジメントの方針を示されたい」というような部分ですけども、伊藤英生副委員長、何か妙案があったら。

予算決算副委員長（伊藤英生君） 以前、別の席でこの表現が一番いいんじゃないかと言った私もあるので、まず富田委員の言われたとおり、もう既に市はやっているんですね。せかすのもどうかと思ったんですが、ちょっと私的にはこの言葉以上のものは思いつかないです。

〔発言する者あり〕

分科会員（富田牧子君） 何年と何年でやるって。

分科会長（澤野 伸君） 2年間じゃなかったでしたっけ、ことしと来年で。

〔発言する者あり〕

今計算しているんでしょう、財産目録をつくって。だから方針は出ていないんでしょう、まだ洗い出しの段階だけやもんね。

分科会員（野呂和久君） すごい直接的な表現ですけども、これでいきたいというような。

分科会長（澤野 伸君） わかりました。

今、野呂委員のほうからと伊藤英生委員のほうからこれでいきたいなあというところでしたけれども、全体の合意をとりたいと思いますけれども、皆さんどうでしょうか、よろしいですか。

〔発言する者あり〕

係長、ちょっと情報あったら。

議会事務局書記（小池祐功君） もしあれば、ちょうどことしの春から公有財産経営室ができましたので、それが暫定2年間の期間の中で答えを出すということですので、もう今既に動いている部分について方針を示されたいというのがちょっときつければ、途中経過を発表してほしいとか、そんなような形にするかですよ、随時報告を入れてほしいとか。

分科会員（川合敏己君） 既にもう立ち上がって半年ぐらいたつんで、やっぱりそれであれば「方針を示されたい」で。

議会事務局書記（小池祐功君） 全体概要方針を示して、今どの辺まで行ったかとか、方針ですか。

分科会長（澤野 伸君） いわゆるマネジメント方法ですね。今、多分財産目録をつくっている途中だと思うんですよ。それぞれの資産価値等々どういう計算をしていくのかはわかりませんが、委員長、そんな感じですよ。通常、執行部のパターンでいくと、検討会というのは財産目録をつくっている段階でしょう、まだこれやっているとなると。

予算決算委員長（伊藤 寿君） そこはちょっと過去の話になりますので、本当は管財検査課のほうで決算書に財産のあれがあるんで、それをきちっとしたものを前につくっておると思うんです。それを僕はちょっと精査しておるんかどうかはわかりませんが、もしあれば現状を説明してもらったほうが、わかると思いますけど、室長に。ちょっとそこは確認していないんで、決算のための財産をきちっとすることは管財検査課のほうで多分やってきたと思うんで、それプラスファシリティーマネジメントの財産の洗い出しの中でやっておれば。

分科会長（澤野 伸君） わかりました。じゃあ分科会としてはこの提案でいきまして、予算決算委員会の中で分科会としてこれを提示しますので、委員会の中でもむとときにちょっと委員長のほうから情報収集しておいていただいて、御指摘があればいただくというような進め方でよろしいですか。その中でちょっと情報提供をお願いいたします。

それでは3つ目ですけども、可児市運動公園の運用充実について、いかがでしょうか。

分科会員（冨田牧子君） この事業は終わりじゃないんですか、どうなんですか。

今後こういうことを言って、実現していく可能性があるのか。そのよそのところを買うという話はあるかもしれないけれど、この事業としてどうなのかと私は思うんです。新たにきょう土田のほうの事業も進められるようなこともあって、ここばかり言っているのもどうなんだろうかと。正直な話、私はそう思って、本当に課題があることはありますけど、あの場所自体が問題だから、あれだけの広さのところだね。もう広げようもないし、どうなんだろう。

分科会員（野呂和久君） 今回のスタジアムも6,200名収容ということです。公共交通がしっかりしていれば、そうしたものを利用しながら観客とかも集めていくというか来ていただくということかと思うんですけど、やっぱり地域で活用していただくということですと車を利用してという形で、どうしても駐車場が今の規模で大丈夫なのかとか、そうしたこともありますし、渋滞ということの心配もされる場所ですので、こうしたところも執行部としては検討していただきたいというところで提言としてはどうかと思ひまして、入れてあります。

分科会長（澤野 伸君） ほかに御意見がある方。

分科会員（亀谷 光君） 今、野呂委員がおっしゃったように、これは使いなれるまでのあれかと思うんだけど、恐らく一極集中型の大きなものがなされる場合には、位置的にもアクセス的にも非常に大きな課題だと思うんですわ。

これはある興業をやる、可児市を見ている会社ははっきり言っていて、あれだけ立派なものをつくったならば、最初からどういうふうな計画かは別として、アクセス道路と駐車場の関係、これはもう本当によく考えてもらわんといかんかなと私も思いますし、いろんな市民の方もそう言っておられる方が多いんですね。ですから、これも我々の分科会としては、そういったことをちょっと提言したほうがいいかなあと僕は思います。以上です。

分科会長（澤野 伸君） せっかくのスタジアム、公園事業に関してもテニス場も含まれておりまして、あとスタジアムの周りの散策コース、これウォーキングコースも予定をされておるんですけども、確かに駐車場が100台切っておるんですね。私個人としてもぜひ入れていただきたいなというところもありますけど、隣の県営の部分、教育センター等々がもう何年も放置されて、県のほうも市のほうに移管したいというところで、値段の折り合いが今つかないという回答が、第1次回答でしたっけ、あったという、一般質問させていただいたときにはそういう回答でしたけれども、何とかせっかくの財産ですので、市民も県民ですので、そういう有効活用という意味合いではぜひ進めていっていただきたいなという思いもちょっとあるんですけども。

分科会員（川合敏己君） 分科会長のお気持ちは何となくわかりませんが、これまでの提言というのが比較的箇所ではなくて、もっと全体的な、例えばファシリティーマネジメント、市全体にかかわってくるようなものに対して確かに提言を行ってきていたんです。例えば特定の事業とかそういったものに関しては一切出してきていなかったです。予算のときには、例

えば土田の児童クラブの、ああいうのがあったんですけど、これまでのあれでいくと、そういうのは特定の箇所に関してはなかったように、そういう実態をちょっとお伝え申し上げます。

分科会長（澤野 伸君） そうですね。ちょっと予算に係ることの箇所になってくると確かに賛否が分かれる可能性もあるんですね。

分科会員（川合敏己君） 現在火が出ちゃっているんで。

分科会長（澤野 伸君） そうですね。どうですか、野呂委員。確かに予算に係ることで箇所になると賛否が分かれるのは当然のことなので、わかりました。これはまた亀谷委員と予算のときに一生懸命頑張ったということで、野呂委員、せっかくの、申しわけない。じゃあちょっと箇所ということで外させていただきます。

伊藤英生副委員長、よろしいですか。じゃあそういうことで、申しわけありません、外すということで。

そうしますと、当分科会では1点、絞り込んで送り出したいと思えますけど、よろしいですか。

〔「はい、いいです」の声あり〕

ありがとうございます。スムーズな進行に御協力をいただきまして、我々は優秀ですね。

じゃあファシリティーマネジメントについてという1点、当分科会で提言を出していきたいと思えますので、よろしいでしょうか。ありがとうございます。

分科会員（川合敏己君） 1つだけ、いじめの予算の部分ですね。たしか新聞では93億円、何かつくとかつかんとかいう、あれはよろしいですか。この取捨選択の中で、これはやるやらないというのをやっていなかったと思うんです。

分科会長（澤野 伸君） そうですね、済みません。新たに盛り込むようなもの、それから7つあった中でこれだけは入れたほうがいいというようなものがあれば、再度確認をいたします。

〔挙手する者なし〕

では御異論がないということで、このように決定をさせていただきます。

暫時休憩させていただきます。

休憩 午前11時17分

再開 午前11時18分

分科会長（澤野 伸君） じゃあ休憩前に引き続きまして再開いたします。

当分科会から予算決算委員会に報告する提言案を策定いたしましたので、朗読いたします。ファシリティーマネジメントについて。

本市は、市民が豊かな生活を享受するためのさまざまな施設整備を行っており、量的充足は果たされつつある。しかし、公共施設は経過年数とともに老朽化し、安定的なサービス水準を維持するためには、現状の評価や将来起こり得る変化に対応する仕組みづくりが急務で

ある。マネジメントの方針を示されたい。

以上でございます。ありがとうございました。

このとおり決定し、9月27日の予算決算委員会において報告することに御異議ございませんでしょうか。

〔「異議なし」の声あり〕

異議なしと認めます。

本日はこれにて散会いたします。

長時間ありがとうございました。御協力感謝します。

閉会 午前11時19分

前記のとおり会議の次第を記載し、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

平成25年9月24日

可児市予算決算委員会第2分科会長